

携帯用液化石油ガス用バーナー (いわゆるガストーチ) の規制対象化 について

令和 6 年 8 月 27 日

産業保安・安全グループ

製品安全課

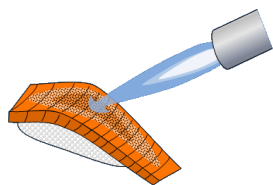
1. 携帯用液化石油ガス用バーナーとは

- 携帯用液化石油ガス用バーナーは、液化石油ガス容器（カセットボンベ）に接続することにより液化石油ガス用バーナーとして炎を出すことができる製品で、あぶり料理やキャンプでの火起こしなどで用いられている。
- 昨今のキャンプ・アウトドアブームもあり、販売量は増加傾向。業界団体（日本ガス石油機器工業会）によると、国内製造各社の販売量の堅調な伸びに加え、海外製品は急増している印象とのこと。

使用用途の例等



当該部分が
携帯用液化石油
ガス用バーナー



あぶり料理

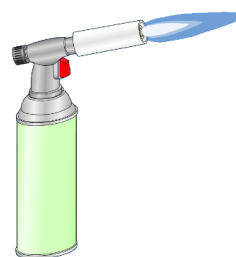


火起こし



雑草駆除

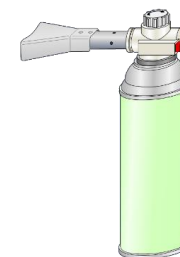
製品例



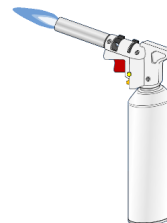
①カセットボンベ缶に接続するもの



②アウトドア缶に接続するもの



③いわゆる「草焼きバーナー」
家庭菜園などで使用される小型のもの



④吸収体入りねじ込み接続ガス容器に接続されるもの(配管工事などの工業用途に使用)



⑤吸収体入りねじ込み接続ガス容器に接続されるもの（木炭火起こしや草焼きなどに使用）

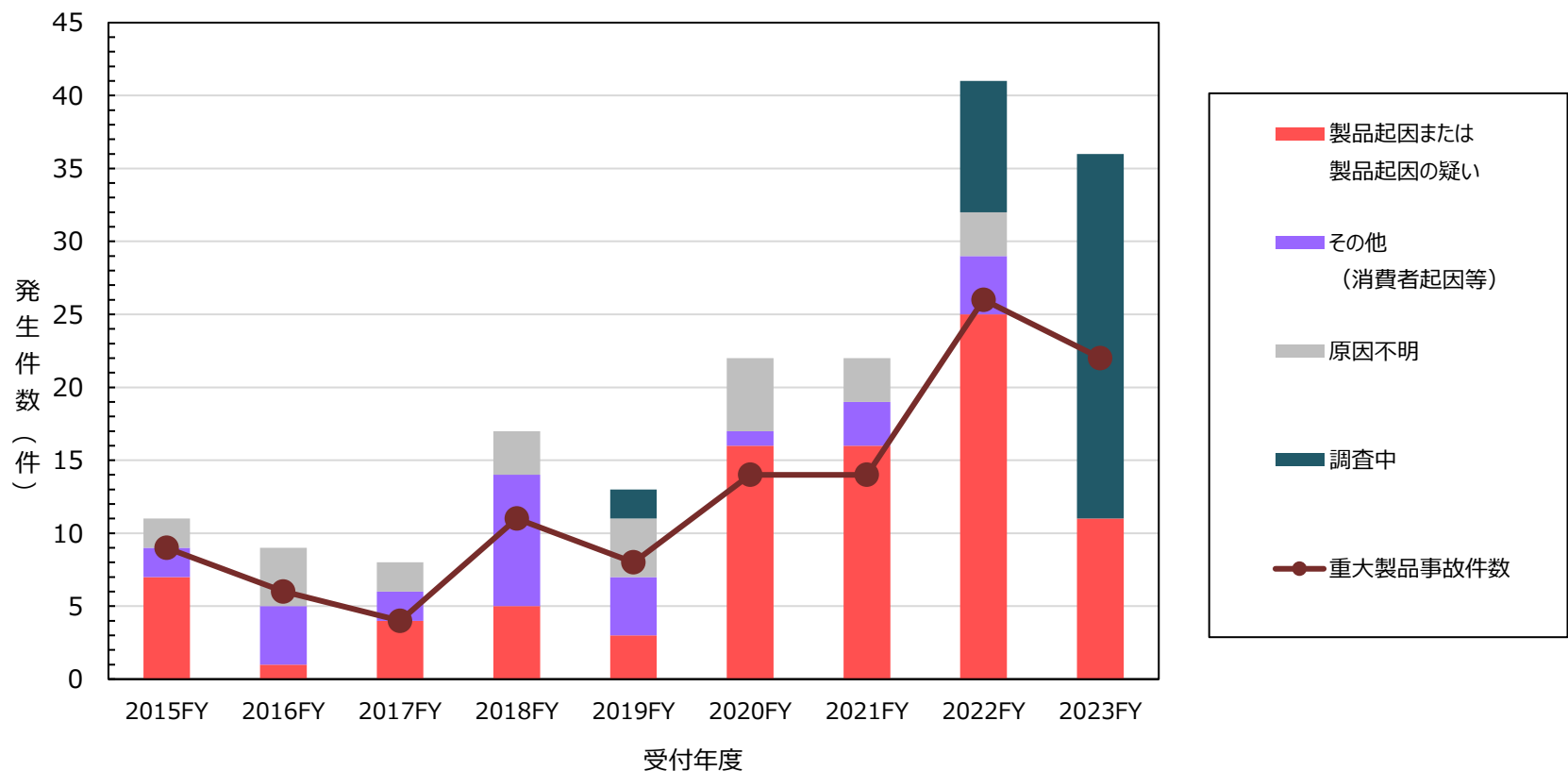


⑥いわゆる「草焼きバーナー」
農家などで使用される高火力のもの

2. 事故件数の推移・概要①

- 近年、製品の使用による火災事故が多数発生。
- 消費生活用製品安全法に基づく重大製品事故件数及び非重大製品事故の合計件数はここ数年20件以上で推移。

携帯用液化石油ガス用バーナーによる製品事故件数



出典：独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）

※2023年度末時点の調査結果に基づくものであり、調査の進展を受けて件数に変更が生じる可能性がある。

2. 事故件数の推移・概要②

- 事故の概要は以下のとおり。接続部分に使用されるOリングの不具合や製造不良、傾けて使用したことで液体燃料が気化されずに漏れてしまうことによる事故が発生している。こうした事故事例を踏まえた対策の検討が必要。

ガストーチのカセットボンベとの接続部

Oリングが2つの構造



Oリングが1つの構造



Oリング

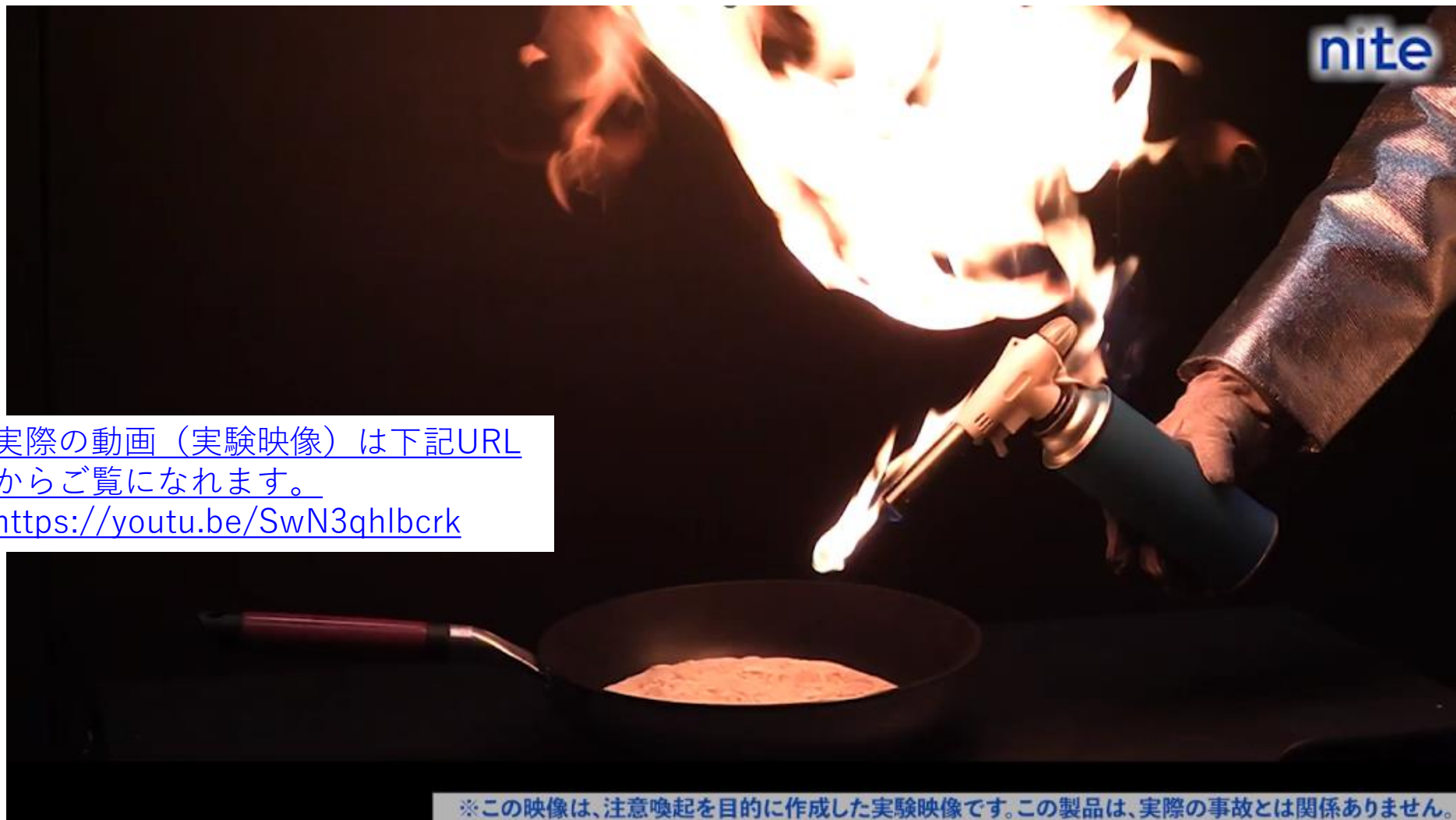
【出典】NITEニュースリリース『粗雑な作りのガストーチにご用心』（2022/4/28）

具体的な事故内容

発生年月		事故概要	事故の詳細
事例1	2019年4月	当該製品を点火した際に火口から大きな炎が発生し、周辺の可燃物を焼損した。	事故品は、立てた状態で点火する仕様であったが、使用者は傾けて点火した。当該製品に専用ボンベを正しく接続し、立てた状態で点火したところ、正常に燃焼し、その後に傾けても大きな炎は発生しなかった。取扱説明書には、点火時に生ガスが出ないように「点火はカセットボンベが直立状態で行い、点火後2分間は動かさない。」旨、記載されていた。
事例2	2021年7月	ネット通販で購入したガストーチを点火したところ、漏れたガスに引火し、周辺を焼損した。	事故品は、カセットボンベとの接続部及び火力調整つまみの内部にあるOリングの寸法が小さかったためにガスが漏れ、漏れたガスに近くのカンロの炎が引火したものと考えられ、ガスシールに関する設計不良と推定される。
事例3	2022年2月	ネット通販で購入したガストーチを点火したところ、本体付近から出火し、周辺を焼損した。	事故品は、火力調整つまみ内部のOリングの設計に問題があったと考えられ、購入後7ヵ月でOリングが劣化して密閉構造が維持できなくなり、火力調節つまみ接続部から漏れたガスに点火時のスパークが引火したものと推定される。
事例4	2023年5月	ネット通販で購入したガストーチを点火したところ、本体付近から出火して周辺を焼損し、手に火傷を負った。	事故品は、火力調整つまみと連動したスピンドルに装着された2個のOリングの外径が器具栓の内径より小さく、Oリング部のシール性能が十分でなかったことから、使用時につまみ部分からガスが漏れ、点火時のスパークが引火したものと推定されるが、設計や品質管理に関する情報が入手できず、原因の特定はできなかった。

【参考】

- 携帯用液化石油ガス用バーナー使用時の漏えいガス引火事象に対する注意喚起の映像
(出典：独立行政法人製品評価技術基盤機構 (N I T E))



3. これまでの対応

- 事故の実態を踏まえ、液化石油ガス機器業界では、**2020年11月に自主基準（日本ガス機器検査協会基準（JIA認証））**を策定し、安全を担保する取り組みを開始（※我が国の カセットボンベ缶を使用するガストーチメーカー全社（8社／シェア10割）が遵守）。他方、海外事業者が製造・販売する製品も急増する中、事故件数の抑制には至っていない。
- また、**2024年2月**には、**日本ガス石油機器工業会**が主体となって、「**危ないガストーチ**」の購入・使用を控えるよう消費者に注意喚起。

JIA認証とは、



←JIAマーク（JIA認証に基づく検査に合格した製品に表示されるマーク）

- 日本ガス機器検査協会（JIA）独自の検査基準に基づいた認証制度。その公平性を確保するため、学識経験者・関係業界・消費者団体・関係官庁等の委員で構成された委員会の審議によって策定（2020年11月）。
- 2020年11月に定めた自主基準（「ガストーチ検査規程」）においては、Oリングの健全性を確認する基準等を設定。

危険なガストーチに関する注意喚起

「安全性に疑いのある」危ないガストーチは 買わないで！使わないで！ください

携帯型ガスボンベを使うガストーチは、炎と燃料を手に持って取り扱うものです。安全性に疑いがある商品の場合には「手元まで大きな炎につつまれる」「大きな炎が消えない状態になる」など、**火傷**や**火災**の危険性があります。**危険な製品は使わないように、注意してください。**

危ないガストーチとは

1 使うカセットボンベが指定されていない

- ガストーチとガスボンベがぴったりとはまり合わない、ガス漏れする危険性があります。
- ガスの成分がガストーチに合わない、異常燃焼する危険性があります。

！ガストーチと接続するカセットボンベは指定されているもの同士でなければなりません。使うカセットボンベが指定されていないガストーチは使わないでください。（指定されるカセットボンベにも、このガストーチによってよいことが明示されている必要があります。）

2 使い方が理解できる取扱説明書がない

- ガストーチの性能と扱い方は、メーカー機種によって大きな違いがあります。
- 使い方と取扱い上の注意が正確に理解できる取扱説明書が必要です。

！海外製品が日本で販売される場合でも、正しい日本語の取扱説明書がついていることは必須です。

！安全を確保するための十分な内容がきちんと書かれているかよく読んでください。

3 万一事故が起きた時に対応してくれる国内の連絡先電話番号がわからない

- ガストーチの事故が多発しています。万一事故が起きた時、連絡する会社名とつながる電話番号が必要です。（携帯電話・メール・SNS・ホームページ・URLでは、緊急時の迅速な対応に難があります。）
- 連絡先が不明な場合、被害の軽減も受けられず、大きな被害をこうむる可能性があります。

！日本国内で事故が発生した時にきちんと対応してくれる会社の連絡先が書いていない場合は危険です。

！事故発生時に責任を負って対応してくれる会社の電話番号が書かれているか確認してください。

※使用前にガス漏れの音や臭いがする製品は使わないでください。

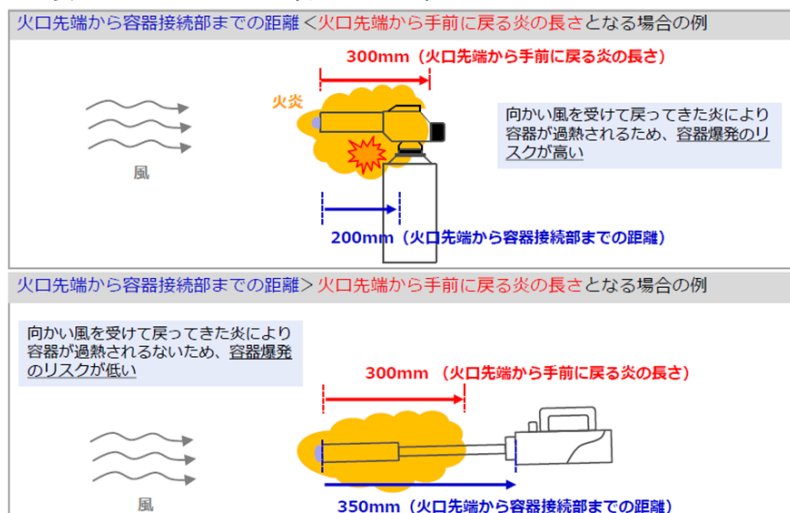
4. 対応の方向性（案）①

- 現状、携帯用液化石油ガス用バーナーに対する法的な安全規制は存在しないが、事故の状況等を踏まえ、携帯用液化石油ガス用バーナーについて、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（液石法）の「特定液化石油ガス器具等」に指定する方向で検討を進めることとした。
- その際、規制対象となる「携帯用液化石油ガス用バーナー」は、事故が多発している一般消費者が用いる製品を対象とすることとし、例えば、以下のような製品は対象外とする方向で検討する。
 - ・配管工事用のようにガスホースを介して取り付ける製品（ボンベを傾けて使用することが無く、液化ガスの逆流が起きにくい）
 - ・草焼きや野焼きで用いられる工事用の製品（容器との接続部から火炎を出すまでの位置が長く、容器爆発のリスクが低い）
 - ・吸収材を封入した安全性の高いボンベとねじ込み式で接続する製品

配管工事用としてガスホースを介して取り付ける製品の例

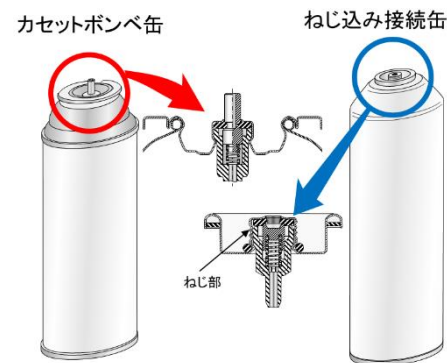


容器接続部から加工先端までの距離の違いによる事故リスクの違い



【出典】令和4年度産業保安等技術基準策定調査研究等事業（ガストーチの安全性能に関する技術基準の策定等調査事業）報告書より抜粋

吸収材を封入した「ねじ込み式」ガストーチ



4. 対応の方向性（案）②

規制対象として検討する携帯用液化石油ガス用バーナー（以下オレンジ部分）

トーチの長さ	CB缶(カセットボンベ)を使用するもの		アウトドア缶を使用するもの		ねじ込み缶(吸収材入り)を使用するもの
	接続部から火口までが350mm以下のもの	接続部から火口までが350mmより長いもの	接続部から火口までが350mm以下のもの	接続部から火口までが350mmより長いもの	
主な用途	家庭でのあぶり調理など	草焼き(農業用)、道路舗装など	木炭や焚火への着火など	草焼き、土壌の害虫駆除など	工事等の業務使用、店内でのあぶり調理など、おもに産業用途
外観イメージ			